

福祉!



contents

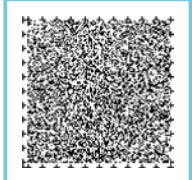
- 特集：令和3年度 三重県社会福祉協議会
事業報告・決算の概要…………… 2
- information…………… 4
- 三重県社会福祉事業職員共済会 事業報告…………… 5
- 連載：そうだ！先輩に聞こう…………… 6
- ありがとうメッセージ…………… 8

「令和3年度三重県障がい者芸術文化祭」の絵画の部および貼り絵・CGの部で入賞された方の作品を公益社団法人三重県障害者団体連合会様よりいただきました。

今号より、特集ページに音声読み上げコードを導入しています

2022年 7 月号
No.373

ふれあいネットワーク



令和3年度は、地域福祉活動支援計画・強化発展計画「新ウェルビーイングみえプラン」の2年目として、社会情勢や制度施策の動向なども踏まえ、本会としての機能を発揮すべく、基本目標に基づいて各種事業を実施しました。今回の特集では、主な事業の評価及び今後の課題と、決算の概要について報告します。

基本目標 1

地域共生の基盤づくり

推進項目

- 1 支え合う地域づくりの支援
- 2 多様な主体との協働
- 3 総合的な相談支援機能の強化

事業評価

市町社協の運営の支援については、地域福祉活動推進協議会を4回開催し、様々なテーマで協議・情報交換を行うことができました。また、会員からの意見を基に、社協の総務担当職員の研修会を開催することができました。

令和2年度には開催できなかった市町社協新任職員研修については、オンライン開催に変更し、多くの市町社協職員に参加いただきました。

また、相談支援包括化推進員等養成事業では、様々な研修を企画し、多くの市町行政職員および社協職員に受講していただきました。

社会福祉法人の公益的な取組(みえ福祉の「わ」創造事業)の推進については、コロナ禍による生活への影響から昨年度に引き続き、生活困窮者支援緊急食糧提供事業と緊急時物品等支援事

業の申請件数が多く、一定の役割を果たせました。

生活福祉資金の貸付事業については、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる緊急小口資金等の特例貸付の令和3年度の申請件数は6,833件となり、5,230件3,388,870,000円の貸付を決定しました。令和4年8月末まで申請受付は継続していますが、償還免除を含めた債権管理へ徐々にシフトしていきます。教育支援資金の申請者の中にも特例貸付の利用者が多く、コロナ禍の家計への影響の大きさが伺えます。

今後の課題

● 重層的支援体制整備事業が令和3年度から施行され、重層的支援体制整備事業実施が5市町、移行準備事業実施が4市町でした。今後、より多くの市町が重層的支援体制整備事業を実施でき

るよう、相談支援包括化推進員等養成事業の委託者の三重県と協働して支援していくことが求められます。

● 生活福祉資金の貸付については、著しく増大した債権の適切な管理と、償還免除への対応および令和5年1月から本格的に始まる償還指導に対応するための人員配置並びに予算確保が必要です。

基本目標 2

持続可能な社会福祉の仕組みづくり

推進項目

- 1 福祉人材の確保・就労支援
- 2 福祉人材の定着支援と育成
- 3 質の高い福祉サービスに向けた支援

事業評価

- 三重県福祉人材センター運営事業、福祉・介護人材マッチング支援事業について、第1回の就職フェアでは、ハイブリッド形式を取り入れ、2年ぶりに会場で開催しました。直接会って話を聞きたい方、県外在住の方や交通事情により会場に来られない方なども参加されることで、参加者の幅が広がりました。
- 多様な人材の福祉分野への参入促進については、介護に関する入門的研修及び介護有資格者再チャレンジ研修において、昨年度のWeb研修実施ノウハウを活かし、動画作成や受講方法などの改善を図ることができました。また、介護に関する入門的研修（出前研修・企業向け）については、昨年度の広報・周知活動もあり、観光業や製造業、高等学校等幅広い分野からの申し込みがあり、実施に至りました。
- 福祉人材の専門性の向上については、全ての研修会をZoomやYouTubeを用いたオンライン形式で実施しました。研修テーマによって、参加者数が大きく分かれていましたが、受

講後に行ったアンケートによる研修への評価はおしなべて好評でした。

今後の課題

- 三重県福祉人材センター運営事業、福祉・介護人材マッチング支援事業では、初任者研修受講者などを確実に就職へ導く支援を行う必要があります。また幅広い年齢層の求職者のニーズに合わせられるような、研修等の実施が求められています。併せて法人・事業所に対しても、ウイズコロナ・アフターコロナに適した求人活動を一緒に模索していく必要があります。
- 介護職員初任者研修（就職氷河期世代）は、福祉・介護職場への就労が必須条件でないため、就労に繋がらないケースが多くあります。そのため、就労へのフォロー体制を検討する必要があります。
- キャリアパス対応生涯研修については、個人ワークを中心としたカリキュラムで実施しましたが、本来の学

習目標の習得は難しい状況です。受講者からもグループワークを実施してほしいとの声があり、新型コロナウイルス感染症への対策を講じた上でのグループワーク実施が課題です。



介護フェアの様子



基本目標 3

災害時に備えた支援活動の充実

推進項目

- 1 災害時に備えたネットワークの構築・基盤強化

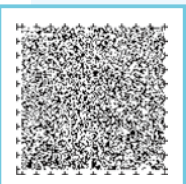
事業評価

- 社会福祉施設等における事業継続計画（BCP）策定研修会を、①概要及び意義、②BCPの策定方法の2日間に分けて実施しました。2コースに分けて実施したところ、多くの方に参加いただきました。

- 今年度から県内の生活圏域で設置された社協災害時広域連携協議会の定例会や研修会等へ参加し、情報共有や意見交換を行いました。これにより、行政・地域・社協の三者連携の進展が見られました。

今後の課題

- 今年度は、三重県DWA T登録員及び調整本部員全員を対象にした訓練の実施を見送ったため、来年度は、これまで養成した登録員に対して、訓練を実施する必要があります。また、三重県DWA T登録員に対する資質向上研修や各種情報提供を行うなど、連携を密にしていくことが重要です。



◀ Uni-Voice 音声読み上げコード

令和3年度 決算の概要

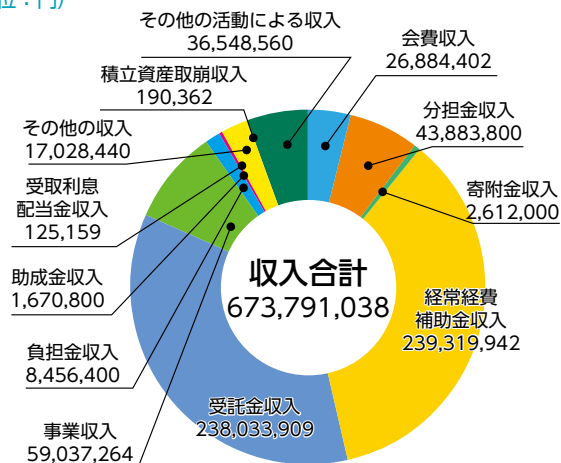
法人単位資金収支計算書（一部抜粋）

本会財政は、会費収入、関係団体からの分担金収入、県補助金収入、県受託金収入、全社協からの負担金収入、研修会等参加費収入からの繰入金収入が主となっています。

令和3年度の一般会計決算は、収入の合計が約6億7千万円、支出合計が7億6千万円で、当期末支払資金残高はマイナス約8千万円となりました。主な要因は、貸付事業によるもので、貸付原資を貸付金として支出しているためです。

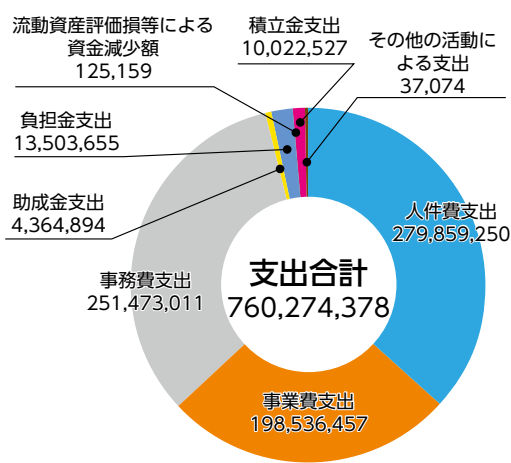
収入

(単位：円)



支出

(単位：円)



information

表紙掲載写真募集！

広報紙福祉みえの表紙に掲載する写真を募集します。

応募要件は次のとおりです。沢山のご応募をお待ちしています。

募集内容

三重県内の福祉サービスを利用されている方、職員の方が撮影した写真または作品の写真
※各月1～4点

応募期間

今後、常時募集します。月に1回選考を行い、掲載作品を決定します。

応募方法

電子メールにてご応募ください。
応募用メールアドレスは
→ kouhou-mie@miewel.or.jp

作品の選考

選考結果の連絡は、選考された作品の応募者に行います。

詳しくは、本会ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.miewel-1.com/news/detail/89>



職場体験事業の受入施設を募集しています！

三重県福祉人材センターでは、福祉のおしごとに関心のある方に実際の職場を体験する機会を提供し、知識・理解を深めていただくことにより円滑な就労支援、福祉職場への人材参入を促進することを目的に職場体験事業を実施しています。

受入施設として登録いただける場合や、ご不明な点はこちらまでご連絡ください。

募集施設

三重県内の社会福祉施設
(高齢・障がい・児童＜保育所・園含む＞)

募集期間

受入施設登録は年間を通して随時受け付けております。

体験者

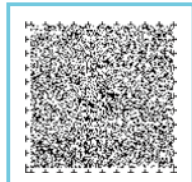
福祉、介護の仕事に関心のある方（これから就職を考えている方や福祉関係の資格を有しながら福祉関係の仕事に就いていない方、学生等）

その他

- ・体験希望者からの申込みを受け、日程調整のうえ2～10日の間職場体験を実施。
- ・受入施設には、「職場体験受入負担金」として、体験者1人あたり5,892円/日をお支払いします。
- ・事故等に備えた保険加入の手続きは当センターが行います。
- ・体験希望者の意向に沿って受入施設を決定しますので、受入施設の登録をしていただいても、受入のない場合があります。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策上、支障がある間は休止することがあります。

お問い合わせ

三重県福祉人材センター 職場体験事業担当
TEL 059-227-5160
FAX 059-222-0170



Uni-Voice 音声読み上げコード ▶

一財) 三重県社会福祉事業職員共済会は、県内の民間社会福祉事業に従事する職員の皆さんが安心して働くことができるよう、退職手当金や見舞金等の給付を行っています。

また、会員の皆さんの福利厚生充実を図るため、福利厚生センターの各種事業を実施しています。

退職手当金等給付事業

令和3年度 会員異動状況

入会者数：1,787名

退会者数：1,752名

総会員数：14,921名(令和4年3月31日現在)

※総会員数には事務手続き上、反映されていない退職者を含みます。

※令和3年度から新制度が適用されています。

退職給付金支給件数/金額

普通退職	1,086件	923,384,799円
死亡退職	9件*	27,215,986円
公務傷病・死亡退職	1件	-円
会員掛金負担分返還	464件	21,347,702円
合計	1,559件	971,948,487円

※返還金1件を含む

見舞金等の給付件数/金額

死亡弔慰金	9件	450,000円
災害見舞金	1件	30,000円
合計	10件	480,000円

福利厚生センター(ソウェルクラブ)事業

福利厚生センター加入状況(令和3年10月1日現在)

138法人 / 7,367名

1 会員交流事業

令和3年度の会員交流事業はツアー関係(宿泊、日帰り)の他、交流事業、各種チケットの割引販売等を予定していましたが、8月中旬以降のまん延防止等重点措置の発出等により、多くの事業を延期、中止しました。このため、事業中止に係る財源を基に会員全員(令和3年10月1日現在)にプリペイドカード(7,296枚)を配布しました。

2 地方委託講習会

東海北陸ブロックの会員を対象にレクリエーションや広報などのテーマで講習会を実施しています。令和3年度は特定非営利活動法人Mブリッジ米山哲司氏に講師を依頼し、広報講習会をオンライン(zoom)で実施しました。【参加者】54名(うち県外28名)

財産目録

資産の部		科目	金額	負債の部		科目	金額
資産の部	流動資産	預金	338,678,515円	流動負債	前受金	85,988円	
		未収金	54,531,987円		未払金	1,040,752円	
	固定資産	基本財産	3,000,000円	固定負債	固定負債	14,247,205,977円	
		退職者管理システム等	2,908,865円		負債合計	14,248,332,717円	
		信託財産	13,852,213,350円		差引正味財産	3,000,000円	
資産合計		14,251,332,717円					

財産状況

1 退職手当金必要額(令和4年3月末現在)

要退職給付総額：13,468百万円 総資産額：14,251百万円

税引後資産額：13,423百万円 充足率：99.7%

2 退職手当積立金(令和3年3月末現在)

支払備金+数理債務：155,009百万円 退職給付引当金：13,611百万円 積立率：90.7%

そうだ！先輩に聞こう

新連載 第1回

本連載は、悩める新任・若手職員の皆さんから業務上でのお悩みや困り事をお預かりし、県内の福祉施設で働く仲間である先輩からメッセージをいただき新任・若手職員の皆さんを応援する連載です！

きっと、同じような悩みをもつ仲間もいるはず！先輩職員からのメッセージをヒントにあなたの業務に活かしてくださいね★

「ほうっておいて欲しい」と言う利用者様への声かけ方法はどうすればいいの？

相談者

特別養護老人ホーム・介護職員
経験年数 2か月



「歯磨きをしたくない」とおっしゃる利用者さんに、「歯磨きをして欲しい」とお願いしました。

利用者さんからは、『この歳になってまでガミガミ言われたくない。もう後は死ぬだけなんやからほうっておいて欲しい』と言われました。私は何も言えず下を向くことしかできませんでした。あの時、何と声をかけるべきだったのでしょうか。

声かけ、難しいですね。

その方に上手くアプローチできている周囲の同僚や先輩のアプローチ法を参考にしているかがでしょうか。もし、チーム全体が困っているようであれば、カンファレンスなどの場で上手くできる方法を話し合うのも1つだと思います。

今後、あなたがご利用者様との関係性を構築していく中で、自ずと解消していくのではないかと思いますので、あえて無理強いをしなくても良いのかなと思いました！ご利用者様の意向にそっと寄り添ってみてはいかがでしょうか。



特別養護老人ホーム・生活相談員
【経験年数 21年目】

先輩方の話の輪に入っていけず、置いていかれてしまっているように感じる…

相談者

保育所・保育士
経験年数 2年



職場の先生方が和気あいあいとしていらっしゃる事が多く、自分が置いていかれてしまっているように感じる場合があります。

会話に入りたい気持ちもあるのですが、いつも先生方から先に声をかけてくださり、自分から会話に入ることが出来ずに悩んでいます。

同期も後輩もおらず、このまま保育士を続けていけるのかな・・・と不安になります。

無理をして築いた人間関係より、あくまで先生が素の状態に関われる、人間関係がベストだと思います。仕事は仕事・プライベートはプライベートと割り切ってみてはいかがでしょうか。

私もどちらかといえば、自分からはあまり進んで、話しかけられないタイプです。保育士に限らず、どの職場でも人間関係は悩みの種ですね。先輩先生方から、声を掛けてもらえているのであれば、環境は良いと思います。

もし今後、先生に後輩が出来た際には、先生の方から積極的に声を掛けてあげられたら、この悩みが今後に生かせられると思いますよ！



保育園・主任保育士
【経験年数 14年目】

※ 掲載したお悩み等は、本会が実施した新人向け研修等の参加者からお寄せいただいたものから広報委員にて選定のうえ、一部要約及び編集して掲載しています。

※ 個人の特定を避けるため、新任職員及びメッセージをお寄せいただいた先輩職員の両者を匿名で掲載をしています。ご了承ください。



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

- オプション1 ●訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ●施設の医療事故補償
 - ・医務室の医療事故補償
 - ・看護職の賠償責任補償
- オプション3 ●施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション4 ●クレーム対応サポート補償
- NEW** ●オプション5 ●施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心
 - ①休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
 - ②消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
 - ③感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
 - オプション：使用者賠償責任補償
- 2 役職員の傷害事故補償
- 3 役職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



ありがとうメッセージ

～ 心も一緒に届いています ～

社会福祉法人 多気町社会福祉協議会

令和2年度 一般配分

ボランティア助成事業 おはなしポケット

今回の助成でペープサートを購入させていただきました。絵本や紙芝居とはまた違った楽しさがあり、小さな子どもたちも喜んで見てくださいました。ボランティア運営の中では高価な物を購入することはなかなか難しいため、会員のお話会の意欲につながり嬉しく思います。



一般財団法人 三重県母子寡婦福祉連合会

令和2年度 一般配分

地域福祉活動支援事業 三重県母子寡婦福祉指導者研修会

母子寡婦連合会の中心的な存在である母子部として、連合会が開催する各種事業に対し、どのような協力が行われるのか等について、母子部会長会議を通じて協議し、連合会行事への参加につながりました。ありがとうございました。



発行人 井村 正勝

編集人 横田 浩一・広報委員会

発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL : 059-227-5145 FAX : 059-227-6618

URL : <https://www.miewel-1.com/> E-mail : info@miewel.or.jp

編集協力 株式会社アイリック

2022年7月号(通巻373号) 令和4年7月発行

「福みえ」は三重県社協のホームページでもご覧になれます。また、広報に関するご意見・ご感想は、E-mailにて受け付けております。